

令和元年度 公益財団法人長岡市国際交流協会 事業報告

第1 都市間交流の推進

姉妹都市や友好都市をはじめ、その他諸都市との市民レベルの交流を活発に展開した。

1 姉妹都市フォートワース市(アメリカ合衆国)との交流事業

| No. | 受入人数 | | 訪問人数 | | 期 間 | | 回数 | 項 目 | 内 容 |
|-----|------|----|------|----|-------|-------|----|------------------------------------|---|
| | 生徒 | 大人 | 生徒 | 大人 | 始期 | 終期 | | | |
| 1 | 11 | 3 | | | 6/20 | 6/27 | 30 | フォートワース中学・高校生グループ受入 | フォートワースの中・高校生が長岡市を訪問し、ホームステイをしながら日本文化の体験、市内小学校・中学校・高校の学校生活体験・交流などを行った。 |
| 2 | 26 | 8 | | | 8/2 | 8/11 | 30 | アドバンスインターナショナルリーダーシップアカデミー(AILA)受入 | 第30回を記念し、今回は特別に日本での開催となった。前半は東京、後半は長岡を会場に、フォートワースと同市の姉妹都市6カ国の高校生が集まり、「Peace Through Innovation(イノベーションを通じた平和の構築)」をテーマにディスカッションし、国際理解を深めた。長岡の高校生12人、ファシリテータ4人、引率2人が参加した。 |
| 3 | 8 | 2 | | | 7/25 | 8/4 | 28 | 原信サマースカラシップ受入 | (株)原信から運営資金の提供を受けて実施。両市の高校生8人、引率2人が各々ペアを組み、パートナーの家でホームステイをしながら長岡まつりへの参加や、日本文化体験などを行った。 |
| 4 | | | 8 | 2 | 8/8 | 8/17 | 28 | 原信サマースカラシップ訪問 | (株)原信から運営資金の提供を受けて実施。両市の高校生8人、引率2人が各々ペアを組み、パートナーの家でホームステイをしながらフォートワースの文化体験をした。 |
| 5 | | | 30 | 6 | 10/19 | 10/28 | 28 | 中学生海外体験フォートワース訪問 | 市内中学2年生がフォートワースでホームステイや学校訪問などを通して異文化理解や現地市民との交流を深めた。訪問生徒は教育委員会が選考した。(長岡市「熱中！感動！夢づくり教育」事業、(公財)長岡市米百俵財団共催事業)台風19号の影響により渡航期間を変更して実施した。 |

2 姉妹都市トリアー市(ドイツ連邦共和国)との交流事業

| No. | 受入人数 | | 訪問人数 | | 期 間 | | 回数 | 項 目 | 内 容 |
|-----|------|----|------|----|------|------|----|-------------------|--|
| | 生徒 | 大人 | 生徒 | 大人 | 始期 | 終期 | | | |
| 1 | | 3 | | | 4/14 | 4/18 | | トリアー独日協会関係者受入れ | 長岡造形大学、小国和紙生産組合、鈴木造園等の視察、打合せなどのため来岡。 |
| 2 | | 2 | | | 6/15 | 6/16 | 7 | アオーレ！ドイツフェスト | アオーレ！ドイツフェスト実行委員会等が主催のドイツフェストにて、トリアー市から特別講師を招き、モーゼルワインセミナー等を開催した。 |
| 3 | | | 5 | 1 | 7/11 | 7/22 | 17 | トリアー青少年国際スポーツキャンプ | トリアー市の姉妹都市などから青少年が集まり、体育館で寝食を共にしながらスポーツを通じて交流した。またホームステイを通じてドイツの生活も体験した。 |
| 4 | 11 | 5 | | | 7/27 | 8/4 | | トリアー青少年グループ受入 | トリアー市の青少年グループが来岡し、ホームステイをしながら、長岡花火鑑賞や地域住民との交流等を通して日本の文化や生活を学んだ。 |
| 5 | | 10 | | | 9/29 | 10/4 | | トリアー市民訪問団受入 | ポルタニグラ学校(総合支援学校)関係者を含む訪問団が来岡した。ホームステイをしながら関連施設を見学し、教育現場で情報交換を行い、理解を深めた。 |

3 姉妹都市ホノルル市・郡(アメリカ合衆国)との交流事業

| No. | 受入人数 | | 訪問人数 | | 期 間 | | 回数 | 項 目 | 内 容 |
|-----|------|----|------|----|------|-------|----|-------------------------|--|
| | 生徒 | 大人 | 生徒 | 大人 | 始期 | 終期 | | | |
| 1 | | | | | 7/6 | 7/7 | | アロハフェスティバル | 長岡アロハクラブ主催のアロハフェスティバルに協力した。アオーレ長岡でホノルル市との交流のあゆみの展示等を実施し、ハワイの文化や歴史への理解を深める機会とした。 |
| 2 | | | 5 | 1 | 12/5 | 12/10 | 9 | 学生平和交流プログラム in Honolulu | 高校生、大学生がホノルルを訪問した。真珠湾追悼式典出席、ハワイ大学生との交流、パンチボウルでの献花等を行い、世界平和や日米友好について考えた。 |
| 3 | | | 30 | 4 | 1/11 | 1/18 | 7 | 中学生海外体験ホノルル訪問 | 市内中学1年生がホノルル市を訪問し、歴史学習、現地中学生との交流などを行った。訪問生徒は教育委員会と協会が選考した。(長岡市「熱中！感動！夢づくり教育」事業、(公財)長岡市米百俵財団共催事業、(株)スプリックス協賛事業) |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|--|--|------|------|----|---------------|--|
| 4 | 4 | 1 | | | 2/15 | 2/17 | 9 | ホノルル高校生グループ受入 | ホノルルの高校生が長岡でホームステイをしながら、雪しか祭りの見学、長岡の青少年との交流、歴史学習などを行い、市民と交流を深めた。 |
| 5 | | | | | 3月 | | 10 | ホノルルフェスティバル参加 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加をとりやめた。(その後、イベント自体が中止となった。) |

4 友好都市バンベルク市(ドイツ連邦共和国)との交流事業

| No. | 受入人数 | | 訪問人数 | | 期 間 | | 回数 | 項 目 | 内 容 |
|-----|------|----|------|----|-----|----|----|---------------------|--|
| | 生徒 | 大人 | 生徒 | 大人 | 始期 | 終期 | | | |
| 1 | | | | | 8月 | | | オットーフリードリッヒ大学夏期講座参加 | 講座参加生1人(大学生・社会人)を募集し奨学金を支給する事業。今年度は、該当者がいなかった。 |

第2 多文化共生の推進

長岡市国際交流センターとの連携や共催・後援事業、その他既存事業をとおして、在住外国人市民との交流を深め、多文化共生の推進を図る。

| No. | 項 目 | 内 容 |
|-----|--------------------------------|--|
| 1 | むつみ会主催「外国人による日本語スピーチコンテスト」理事長賞 | 在住外国人市民の日本語学習の研鑽の場、長岡や日本文化の発信の場としてのスピーチコンテストで、理事長賞を授与し、外国人市民を支援した。 |
| 2 | 多文化共生セミナー～SDGsを知ろう～(1月25日) | 特定非営利法人にいがたNGOネットワークRINGから講師を招き、SDGs(持続可能な開発目標)入門セミナーを開催した。参加者:56人 |

第3 人材育成事業

| No. | 項 目 | 内 容 |
|-----|----------------------------|---|
| 1 | ワールドリーダーズセミナー(12/26～12/27) | 中学生・高校生を対象に、国内において国際的に活躍する企業、組織を訪問し、将来の夢や進路を考えるヒントを与え、国際人育成の一助とするためのプログラムを開催した。(長岡市「熱中!感動!夢づくり教育」事業) 訪問先:外務省、JICA東京等 参加者:市内中学生7人・高校生13人 |
| 2 | OBOG交流会(10月28日) | 姉妹都市訪問事業OBOGを中心とした参加者が集まり、近況や各自の体験を情報交換し、今後のOBOG事業や国際交流事業への関わりについて話し合った。参加者:13人 |
| 3 | ホストファミリー交流会 | 3月14日開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためとりやめた。 |

| | | |
|---|---|--|
| 4 | (公財)長岡市米百俵財団主催「米百俵未来塾」への参画(国際交流協会主管事業 9月21日(土)) | 長岡開府400年を契機に、“新しい米百俵”として、開府400年記念の寄附金を活用して開催された「米百俵未来塾」に、市内6つの関係団体が共同主催として参画した。小学4年生から中学3年生の塾生に対し、年間を通して各団体が1講座ずつ実施し、多様な学びの場を提供した。 当協会は「世界はトモダチ ～話そう！見つけよう！平和のヒント～」として、留学生が講師となり、国際理解を深めながら、平和や多文化共生、自分の将来像を考える講座を開催した。 |
| 5 | 国際ソロプチミスト長岡主催「高校生英語スピーチコンテスト」協会賞(5月25日(土)) | 高校生の英語力向上や青少年の国際理解・国際交流の推進のため、高校生英語スピーチコンテストで国際ソロプチミスト・長岡市国際交流協会賞を授与した。同賞受賞者は国際ソロプチミスト長岡が参加費を負担し学生平和交流プログラムin Honolulu或いはアドバンスインターナショナルリーダーシップアカデミー(AILA)に参加した。ホノルルを訪問した生徒は現地学生との交流など平和学習を行い、AILAに参加した生徒はフォートワースの姉妹都市各国の生徒と交流し、国際理解を深めた。 |

第4 会員相互連携事業

| No. | 項 目 | 内 容 |
|-----|---------------------|--|
| 1 | 協会機関紙「HOWDY」発行(年3回) | 協会の機関紙(市の事業案内含む)を年3回(4月、9月、1月)発行した。また、年度末に事業参加生の体験記を掲載した「別冊HOWDY」を発行した。 |
| 2 | 国際交流のつどい(2月15日(土)) | 賛助会員の親睦を図り、交流事業に関わった方々への感謝の意を表すとともに、国際交流・多文化共生に対する理解の輪を広げるための交流会を開催した。(参加者:193人) |